

『<盗作>の文学史』

栗原 裕一郎 著 新曜社

3,990 円 (税込)

「この帯文は、校正の段階で感じたことをそのまま文章にしたものです。小社の帯文としては例外的にくだいているので、ちょっと不安でしたが、問題はありませんでした。『ん?』は、最初小さくしていたのですが、装幀者の案で大きくしました」(担当編集)。



剽窃は文化である。—ん?

つくづく人間(作家)は面白い。盗作、パクリ、剽窃、無断引用、著作権侵害、作家のモラル……をめぐって繰り広げられたドタバタ(悲喜劇)を博覧し、事件としてでっち上げられる過程を冷静に考察した盗作大全。すべての作家、作家志望者、文学愛好家必読必携の書。

新曜社